

おうちの図工室、美術室

いろいろと説明してください

対象学年 中学1年生

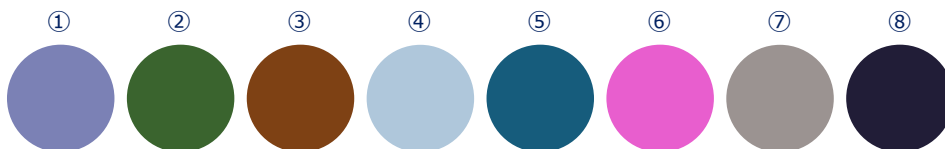
想定時間 最低1時間～

題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

下の色を説明してください。ただし、「赤、青、黄、緑・・・など色の名前を使わずに」と言われたらどのように説明しますか。二種類の説明の方法で説明してください。

I その説明を聞いて、クラス全員が全く同じ色を絵の具で再現できる説明

II あなたにしかわからない説明



- どのような用紙でも構いませんので言葉で説明してください。
- このような説明を考えると、何を感じましたか最後に書き添えてください。
- 提出日は〇月〇日の登校日です。でも、早く先生に見てほしい人は、文章をPCなどで打ち込んで、下のアドレスまで添付で提出してください。

ANCS としてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

自己を深める

IIの説明では、自分の感じたことを感じたままに言葉に紡ぎます。これを繰り返すことで、自分の言葉の紡ぎ方に価値を見出します。

共感性

Iの説明をするとき、他者の理解や、共有できる考え方や記号を想定することになります。理解してもらうために、ネット検索などで情報をまとめることは大切なことです。

深く見つめる

自然の中にある色をイメージしたり探したりすると思われれます。和名からイメージを探す際に、自然や植物を見る行為につながります。

三観点

知識・技能

視覚から感じたこととこれまでの知識とつなげることができる。

思考・判断・表現

情報や知識を組み合わせたものを、自己表現や他者理解双方で価値づけることができる。

主体的に学習に取り組む態度

これまで記号としてとらえがちであった色名を、感情や、情報としてとらえなおそうとする。

おうちの図工室・美術室

活動の足あと・子どものことば



見る人の
心の在り方によって
この世界には
いろんな色が
溢れている

クラス全員が
再現するには
何で例えるとより
伝わるだろう

使用した材料・道具

紙パレット、アクリルガッシュ、筆、筆洗、
ティッシュ、新聞紙、油性ペン

なかなか
同じ色を
再現できないな

クラス全員が再現できるように、まず、自分で色づくりをしました。見本の色にたどり着くまでに、何が今の色に足りないのだろうか、多いのだろうか、いったりきたりしました。色の名前を使わないで、クラス全員に伝えるので、その色からイメージしやすいものは何か考えました。しかし、色を野菜などで例えようとしても、成長の段階で色が変わっていくので、どの時の状態を表しているのかも説明する必要がありました。⑥と①は、混ぜる割合が違うが、つくるのに必要な色の種類が似ていることを知りました。その時の物の状態や、見る時間、季節、見る人の心の状態などで、同じものでも、いろんな色を感じていることに気づきました。そのように考えると、この世界には、数えきれないほどのたくさんの色で溢れていると思いました。